

3月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和7年3月末現在〕

令和7年4月14日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比では「景況」は変化なし、「売上高」「収益状況」は改善した。

業種別でみると、「景況」は製造業、非製造業ともに前年同月比は悪化、前月比は変化なしであった。「売上高」は、製造業では前年同月比は悪化したが、前月比は改善した。非製造業では前年同月比、前月比ともに改善した。「収益状況」は製造業、非製造業ともに前年同月比は悪化、前月比は改善した。

米価やエネルギー価格等の高騰が続いており、収益が圧迫されているとの報告が見られた。また、従業員確保に苦慮しているとの報告もあった。

景況DI

製造業は、前月比変化なしの▲40.0ポイント、非製造業は、前月比変化なしの▲29.2ポイント、全体では、前月比変化なしの▲34.7ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比8.0ポイント改善の▲32.0ポイント、非製造業は、前月比20.9ポイント改善の16.7ポイント、全体では、前月比14.2ポイント改善の▲8.2ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比4.0ポイント改善の▲44.0ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント改善の▲16.7ポイント、全体では、前月比4.1ポイント改善の▲30.6ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名

報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和7年3月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種		具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	学校給食パン	令和7年度の給食パン基本加工賃が、茨城県学校給食会との交渉の結果、令和6年度より9.09%上昇することとなった。 加工賃の上昇率は過去最高であるが原材料、エネルギー価格、燃料費等の上昇にまだまだ追いついていない。
		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県2月の清酒課税移出数量は、対前年同月比100.0%で、変動は見られなかった。本格焼酎については、同79.2%であった。清酒課税移出数量は、前年に対して横ばい状況であるが、その中で高級酒の特定名称酒の占める割合が伸びてきている。 ○県内当業界について ・茨城県唯一の酒米である「ひたち錦」の令和7年産の耕作面積は、主食米の高騰により農家が酒米よりも主食米作付に移行するため前年比60%減の2,100aに確定し、酒蔵の購入希望数量の40%の酒米耕作面積となった。 ・酒米をコシヒカリより高値で購入すれば、農家は耕作面積を減らさないが、現在のコシヒカリより高値で酒米を購入しても、酒蔵側では収益確保をできない状況にある。そのため、全国的に酒米の耕作面積は縮小しており、酒蔵は原料米の値上がりと品薄に苦しんでいる。 ・3月19日に今年の新酒の大吟醸の評価会を行ったが、国税鑑定官からはキレイな味に仕上がったとの評価を受けた。
		納豆	人手不足の状況が恒常的に続いており、年間を通じて解消されていない。
		菓子	ひな祭りや彼岸などの時期に作られる季節菓子、誕生日などの記念日など以外での消費者の菓子の購買意欲は低下している。 菓子は嗜好品であり、その傾向が最近、顕著である。
		漬物	3月は上昇していた原料野菜の価格が徐々に落ち着きを取り戻してきたが、原料以外の物価が上昇し続けている中、企業努力でどれだけ対応できるか不安である。
		食肉	2024年10月から2025年2月の間に発生した高病原性鳥インフルエンザにより、鶏が殺処分された影響で原料が減少し、工場の稼働率が低下したことで月に2、3回、稼働日を休業している組合員が5社中、3社ある。
	繊維工業	外衣シャツ	昨年10月に受注案件の7割が終了し、その後も仕事量は回復しておらず、今後の見通しは立っていない。

報告年月

令和7年3月

情報連絡一覽票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	木材・木材製品	製材	原木の価格は杉は横ばいから、下降傾向で推移し桧は横ばいで推移した。 国産材製品は杉、桧ともに製品不足が続いているが、価格は横ばいで推移した。 外材は入荷量が減少傾向となっているが、価格は横ばいで推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の70%。 4月の加工予定は下旬にやや空きを残し、各週5～8棟を予定している。 木材費は引き続き高値で推移している。
	紙・紙加工品	段ボール	4月から様々な物品が値上がりするため、3月中に先買いされる商品が多く、これら商品を包装・梱包する段ボールの生産量は前年と同程度であった。先買いされた影響で4月は反動減が懸念される。 また、4月から原材料価格が上昇するため、顧客に価格改定を要請し、転嫁しなければ収益が減少するが、その対応は各社それぞれ異なる。
	印刷	総合印刷	前年同月と比べて業況に変化はなく、紙など資材の値上げや受注量の低迷が収益状況と資金繰りを圧迫している。
	窯業・土石製品	コンクリート製品	令和7年4月1日付けで県土木部設計単価を改定し、各製品5%～10%上昇する。
		陶磁器	春の行楽シーズンを迎えるが、物価上昇が続く消費行動が鈍っている中、少しでも来客者の購買意欲を掻き立てるように、陶炎祭りなどのイベント内容の充実を図りたい。
	鉄鋼・金属	電気めっき	受注量は前月後半から減少が続いており、前年度に比べ10～15%程度減少している。 建築関連部品の受注量は多少持ち直しているが、車両関連部品、半導体関連部品、その他の機械部品等の受注量は減少している。 電気代、原材料費、燃料代を含む石油製品等の価格は高値で推移している。

報告者名

茨城県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年3月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	一般機器	生産用機械	主要取引先からの受注減少が続いていることが主要因となり、7組合員の売上高は対前年同月比で2社増加、5社減少の全体増減率93%と13ヶ月連続で減少となったが、減少幅は縮小してきている。また、受注減少に伴い派遣社員数が減少しているため、団地全体の従業員数は対前年同月比で減少している。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	受注量が減少傾向にあり、先行きも不透明である。
	卸売業	生鮮魚介	取扱高は対前年同月比104.51%であった。 商品単価の上昇の影響で取扱高は前年を上回ったものの、取扱数量は大幅に減少している。 水産品だけでなく、野菜や米等の値段が上昇しているため、市場全体の荷動きが減少傾向にある。
		米麦	政府備蓄米の買戻し条件付き売渡ししが21万トン行われたが、米の市場価格はそれほど値下がりしていない。今後も価格動向を注視したい。
		袋セメント	袋セメントの3月度出荷数量は29千袋、対前年同月比98.6%の実績となった。 全体では需要が減少する中、茨城県が進める日立市の新産業廃棄物最終処分場関連工事等で袋セメントの需要が増加し、前年同月並みの実績となった。
		鹿行地区共同店舗	組合全体の売上高は対前年同月比98.81%、来店客数は同98.49%であった。前年度より売上高が増加した店舗は全体の6割であった。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和7年3月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	小売業	燃料	国の燃料油価格激変緩和策により全国のレギュラーガソリンの平均価格は185円程度に抑えられている。茨城県の平均価格は180.7円で、対前年同月比で10.6円/ℓ上昇している。少子高齢化、低燃費車の進化等や小売価格の上昇による買い控え等が要因で石油燃料の販売量が伸び悩む中で、大手県外企業等を中心に価格競争が起き、販売コストの上昇分を十分に価格転嫁しきれておらず収益は圧迫されている。円安や国際情勢を要因とする原油価格の高止まり等の問題は変化する様子はなく、組合員の経営は厳しい状況にある
		二輪自動車	50ccの原付バイクが生産終了となることから、買い置きするため在庫数量は増加している。諸物価高騰により販売価格も上昇している。
		スポーツ用品	取引高校の入学生徒数の増加（約50人）と商品単価（学校体育着、シューズ）の上昇により売上高が増加した。
		中古自動車	販売価格は対前年同月比で100.1%と横ばいで推移したが、販売台数が同116.8%と好調だったため、売上高は同117.0%と前年を大きく上回った。令和7年1月から3ヶ月連続で売上高が前年を上回ったが、小売が低迷した前年実績の反動増が起因している。また、県内に複数店舗を構える大型店の販売が好調で実績を牽引しているが、小規模店舗では販売が伸びておらず、厳しい経営環境が続いている。
		野菜・果実	3月の取扱高は野菜果物合計で対前年同月比115.5%となった。過去5年間の平均取扱高と比較すると112.7%となった。暖かい日が増えるとともに入荷量も増え、単価が落ち着いた品目（ブロッコリー、きゅうり、ピーマン等）もいくつか見られたが、全体としては単価高が続いている。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和7年3月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	商店街	筑西	備蓄米の放出が行われたが、米の仕入れ価格単価上昇は止まらず、米価上昇の歯止めとなっていない。
非 製 造 業	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車は106.7%・軽自動車は99.4%となり、売上高は前年並みとなったが油脂類・光熱費の高騰により収益状況は悪化しているため、整備料金の見直しが必要となってきている。
		旅館、ホテル	全体的に人手不足が見受けられ人材確保が難しい。 インパウンド比率は施設によりまちまちであるが約1%弱となっている。（国内利用若干増・インパウンド利用若干減） 県内各エリアで梅まつり、ひなまつり、スポーツ大会などが開催され観光客の宿泊が増加した。 県北ではあんこう目的のお客様で賑わい、3月8日のあんこうサミットでは過去一番の売上を上げた。 観光需要が増加したことにより多数の施設が好転傾向にあった。 4月からは閑散期に入るため対策が必要である。
		ビル管理	売上高・受注単価は上昇しているものの労務費、燃料費、資機材消耗品費も増加しているため、利益の増加につながらない状況が続いている。
	建設業	鹿行地区建設	時間外労働の削減のため、デジタル化を活用した効率化等の取組みが求められている。 また、労働環境を改善し人手不足を解消するため、週休二日制工事の受注・施工が求められている。
	運輸業	軽貨物自動車	令和7年3月度の組合員数は94名、車両台数は122台であった。また、運送売上高は対前年同月比101.7%であった。

報告者名

茨城県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年3月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は低調だが、売上高は運賃を値上げしたこともあり、ほぼ横ばいで推移した。燃料価格はさらに上昇しており収益を圧迫している。運転手の人員確保も課題となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食の回数増
	清酒	米価の高騰により経営が圧迫されている酒造業者に対して原料米購入資金の補助金の検討をお願いしたい。
窯業・土石製品	コンクリート製品	公共工事費の拡充
小売業	燃料	・揮発油に課税している二重課税の廃止 ・燃料油価格激変緩和策の継続、補助金の今後の見通しの周知徹底（激変緩和策、暫定税率撤廃等） ・物価上昇、円安への対策
	スポーツ用品	中学校部活動地域移行に伴う地域クラブチーム等の受け皿の整備
サービス業	旅館・ホテル	・宿泊業で申請可能な補助金・助成金の情報が欲しい。 ・外壁塗装の補助金を計画してもらいたい。
建設業	鹿行地区建設	公共工事の発注件数の増加

月次景況調査 3月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比
景 況	▲ 34.7	▲ 34.7	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0
売 上 高	▲ 8.2	▲ 22.4	14.2	▲ 32.0	▲ 40.0	8.0	16.7	▲ 4.2	20.9
収 益 状 況	▲ 30.6	▲ 34.7	4.1	▲ 44.0	▲ 48.0	4.0	▲ 16.7	▲ 20.8	4.1
販 売 価 格	34.7	38.8	▲ 4.1	8.0	8.0	0.0	62.5	70.8	▲ 8.3
取 引 条 件	▲ 14.3	▲ 12.2	▲ 2.1	▲ 16.0	▲ 16.0	0.0	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 4.2

中小企業月次景況調査(令和7年3月)DI値(前年同月比)

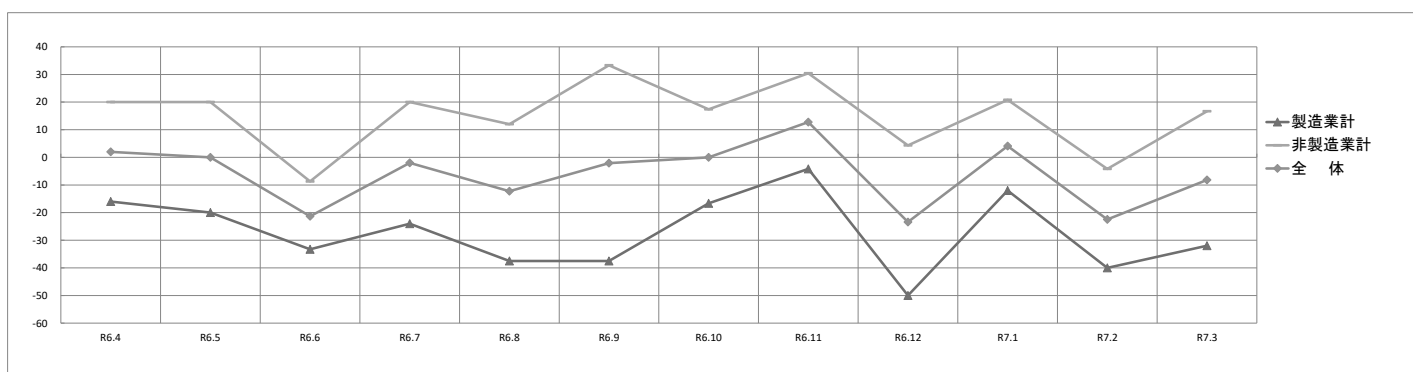
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)										
				増加	不変			減少	業界数			増加	不変			減少	業界数			上昇	不変			悪化	業界数			好転	不変			悪化	業界数			好転	不変	悪化	業界数	上昇	不変	悪化	業界数	増加	不変	減少
製造業	食料品	△ 25.0	1	4	3	8	△ 25.0	0	6	2	8	37.5	3	5	0	8	0.0	0	8	0	8	△ 37.5	1	3	4	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 50.0	0	4	4	8
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2
	木材・木製品	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	窯業・土石製品	△ 60.0	0	2	3	5	0.0	0	5	0	5	40.0	2	3	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	1	2	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	輸送機器	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	製造業計	△ 32.0	2	13	10	25	△ 20.0	0	20	5	25	8.0	5	17	3	25	△ 16.0	0	21	4	25	△ 44.0	1	12	12	25	△ 24.0	0	19	6	25	△ 32.0	1	15	9	25	△ 28.0	0	18	7	25	△ 40.0	1	13	11	25
非製造業	卸 売 業	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小 売 業 (商店街含む)	9.1	3	6	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	72.7	8	3	0	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 9.1	0	10	1	11	△ 36.4	0	7	4	11	
	サービス業	66.7	2	1	0	3					66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3					0	2	1	3	0.0	1	1	1	3		
	建 設 業	0.0	1	3	1	5					40.0	2	3	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0					0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運 輸 業	50.0	1	1	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0					0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	16.7	8	12	4	24					△ 14.3	1	10	3	14	62.5	15	9	0	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 16.7	2	16	6	24	△ 20.8					0	19	5	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 29.2	1
全 体		△ 8.2	10	25	14	49	△ 17.9	1	30	8	39	34.7	20	26	3	49	△ 14.3	0	42	7	49	△ 30.6	3	28	18	49	△ 22.4	0	38	11	49	△ 32.0	1	15	9	25	△ 20.4	0	39	10	49	△ 34.7	2	28	19	49

D I 値推移表 (R6.4月 ~ R7.3月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
食料品製造業	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.6	▲ 22.2	▲ 71.4	▲ 11.1	▲ 41.2	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 17.6	▲ 47.1	▲ 35.3
製造業計	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0	▲ 12.0	▲ 40.0	▲ 32.0
卸売業	100.0	0.0	▲ 66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0
小売業(商店街含む)	15.4	46.2	18.2	30.8	7.7	50.0	27.3	54.5	9.1	45.5	9.1	9.1
サービス業	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	33.3	33.3	66.7
建設業	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0
非製造業計	20.0	20.0	▲ 8.7	20.0	12.0	33.3	17.4	30.4	4.3	20.8	▲ 4.2	16.7
全体	2.0	0.0	▲ 21.3	▲ 2.0	▲ 12.2	▲ 2.1	0.0	12.8	▲ 23.4	4.1	▲ 22.4	▲ 8.2

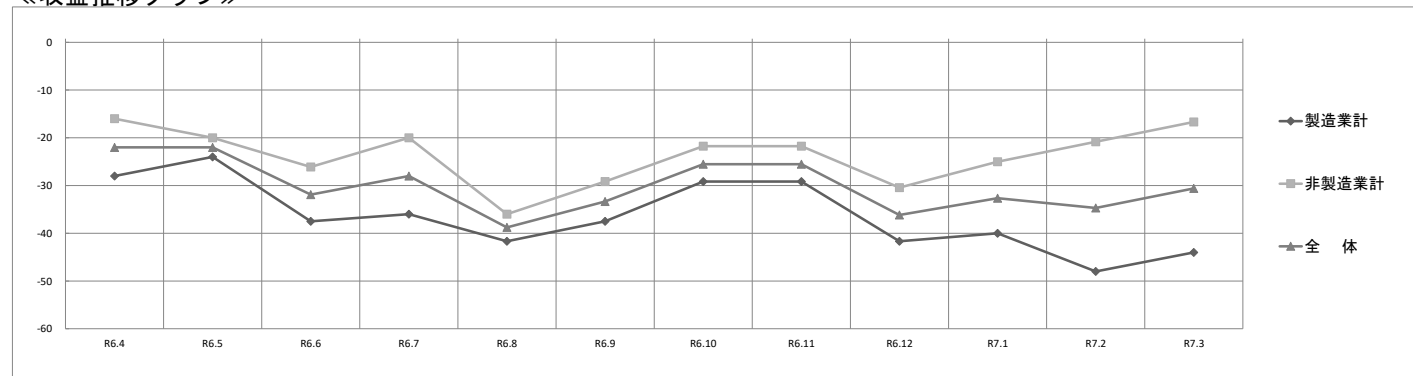
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 35.2	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 47.1
製造業計	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 44.0
卸売業	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 18.2	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	0.0
建設業	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 16.7
全体	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 31.9	▲ 28.0	▲ 38.8	▲ 33.3	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2	▲ 32.7	▲ 34.7	▲ 30.6

《収益推移グラフ》

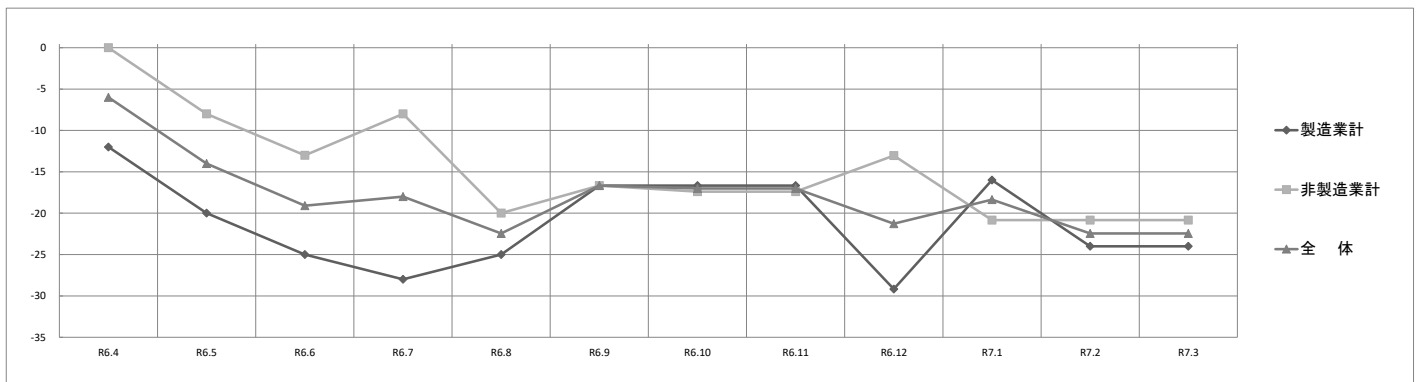


D I 値推移表 (R6.4月 ~ R7.3月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 17.6	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 17.6
製造業計	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 24.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	0.0	▲ 8.0	▲ 13.0	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8
全体	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 19.1	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 16.7	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 22.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
食料品製造業	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 47.0	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 35.3
製造業計	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 45.8	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 40.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4
サービス業	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
建設業	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.4	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2
全体	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 38.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 27.1	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9	▲ 28.6	▲ 34.7	▲ 34.7

《景況推移グラフ》

